



2010（平成22）年4月に開校した中央大学市ヶ谷田町キャンパスの開校式は、5月15日に挙行された。

創立125周年記念事業の一環として、後樂園キャンパス、市ヶ谷キャンパスに続く、第3の都心における研究・教育拠点の誕生である。

JR市ヶ谷駅に程近い外堀通り沿いに建つ、通称「中央大学ミドルブリッジ」と呼ばれることになったこの建物は、鉄骨・鉄筋コンクリート造り陸屋根、地下1階・地上15階建てで、建築面積は約1,132m²、延床面積は約7,818m²、前年末から3ヵ月余の工期で改修を行ったものである。

この施設には、主としてアカウンティングスクール(国際会計研究科)、法務研修施設、大学院公共政策研究科に加え、国際交流を視野に入れたコミュニケーションセンター機能を収容している。

一階には、本学全体の広報、入学センター、キャリアセンターの機能を持つ総合的な窓口「総合インフォメーション」を設け、約80タイトルの大学広報誌を用意するなど、来訪者の利便性を重視した本学の都心展開施設として活用が望まれている。